

【記載例】

◎入湯税納入書は、「納入書」「領収証書」「納入済通知書」の3枚1組になりますので、全てに同じ内容を記入してください。

市区町村コード	271004				
	大阪府				
	大阪市				
口 座 番 号			加 入 者		
00900-5-960001			大 阪 市 会 計 管 理 者		
(鉱泉浴場の所在地及び名称)					
大阪市中央区船場中央〇丁目〇番〇号					
ホテル船場中央〇〇					
(特別徴収義務者の住所又は所在地、氏名又は名称)					
大阪市北区中之島〇丁目〇番〇号					
大阪〇〇温泉株式会社 様					
年 度	申 告 年	申 告 月	申 告 処 理	処 理 回 次	台 帳 番 号
5	6	1	—	—	XXXXXXXXXX
徴 収 年 月			申 告 区 分		
令和 5 年 12 月 分			申告 更正 決定		
税 額	百 十 億 千 百 十 九 千 百 十 円		2 8 6 8 0 0		
延 滞 金			0		
過少申告・ 不申告・重 加算金			0		
合 計 額			¥ 2 8 6 8 0 0		
納 期 限	令和 6 年 1 月 31 日				
領 収 日 付 印					

鉱泉浴場を設置している施設の所在地及び名称を記入してください。

申告していただく方の住所及び氏名を記入してください。

実際に申告された「年」、「月」と「その月の属する年度」を記入してください。

【例】
・令和5年12月分の入湯税額を令和6年1月20日に申告納付する場合
年度→「5」
申告年→「6」
申告月→「1」

徴収年月欄には、「入湯税 納入申告書」に記載された「令和〇年〇月分」と同じ内容を記入してください。

申告納入期限を記入してください。

※入湯税の申告納入期限は、実際に入湯税額を特別徴収していただいた月の翌月末日となります。

鉱泉浴場施設ごとに附番された台帳番号(8桁)を記入してください。

該当する申告区分に〇印を付けてください。

左欄の申告期間分について、初めての申告納入である場合は、「申告」に該当します。

「入湯税 納入申告書」に記載された「⑥ 納入すべき納入金の額」と同じ金額を税額欄と合計額欄に記入してください。

また、合計額欄には、先頭に「¥」マークを記入してください。

- ★ 納入書をご利用になる際の注意点 ★
- (1) A4サイズの普通紙に印刷してご利用ください。(感熱紙等は使用しないでください。)
 - (2) 領収証書は5年間大切に保存してください。
 - (3) 領収証書は、大阪市会計管理者、銀行等(大阪市指定金融機関、大阪市指定代理金融機関、大阪市収納代理金融機関又は郵便局の領収日付印を押すことによってその効力を生じます。ただし、証券(小切手等)をご使用の場合は、その証券金額の支払いがあるまで納付義務は完了しません。